

盛岡・秋田・東京・千葉・横浜地本参加のもと

総勢12名参加

指令組合員意見交換会を開催！



4月24日、13:30～盛岡地本会議室にて「第2回指令職場で働く仲間の意見交換会」を開催しました。まず仁戸田部会長より、春闘交渉が現在も継続中の「鉄研労」の現状ならびに、きかく部会情報誌「よこ糸R」についての紹介、「武蔵小金井暴行事件」初公判(4/14)の報告。業職種別意見交換会を継続し、きかく部会として、今後も横のつながりを強化していくと挨拶を受けました。来賓の本荘中央本部業務担当部長から、25春闘妥結までの経過等の報告を受けました。

また、「JR福知山線断線事故」から20年の節目に当たり、東日本における日勤教育の現状や「原因究明」を通じた安全議論を作り続ける意義など挨拶を受けました。今回で2回目となる指令員の意見交換会は前回同様、悩みの共有や、業務の問題点などを共有し、活発な意見交換会となりました。

主な意見

【ワンマン運転その他施策に伴う取扱・体制変更】

- ・首都圏(常磐(緩)線・南武線)では、運転士が車外処置中で車警対応出来ない場合、指令室に転送され、お客様対応が可能となっている。
- ・駅直運転士出身者は、車掌経験がなく、異常時のお客様対応や車内放送を実際に経験したことがない中で、指令室に転送された車警対応は難しいのでは。
- ・この間のワンマン交渉において指令内で問題となっていた事柄を反映することが出来た。
- ・車警が扱われても車警対応要員がないため、対応できないのではないかと。
- ・駅信号所の指令移管により指令業務が増加。最近、列車の不接事象が発生しているが、着座義務解消に伴い、離席して指令業務以外の業務も増加していることも要因ではないかと。
- ・出勤毎に担当線区や担当業務が異なることがある。
- ・体制変更について上長の指示からWGを通じて行なわれることが増えている。
- ・運転士の兼務発令がされていても要員不足により1徹程度の乗務すら出せない。
- ・兼務発令解消について要望が多く出されているが、実現しない。

【教育について】

- ・事故防止検討会を開催しても、原因究明ではなく、個人攻撃や責任追及の場になっている。
- ・事故事象を捉え返す中で、個人の資質に切り縮められてしまうことがある。
- ・会社主催の勉強会では、原因と対策ばかりが先行して、背後要因の掘り下げが不十分。
- ・事故の振り返りも、当日の出番者(上位担務者)のリード次第のところもある。
- ・若手が若手を指導する際、新人の不安解消に至っていない。(座学省略、見習い期間の減少)
- ・別線区・別担務になる際の教育のあり方に問題がある。

「やるべき事はやる！言うべき事は言う！」横のつながりで仲間を守り、共に高め合い、安全風土を創りだそう！

次回 10月開催予定